石川の子どもの学力を伸ばす
いしかわ学びの指針１２か条

活用力を高める

第１条	根拠や筋道を明確に表現させる
第５条	相手を意識して、「話す力」「聞く力」を身につけさせる
第６条	学び合い学習を充実させる

《めざす児童像の共有》　教師と子ども　そして保護者も

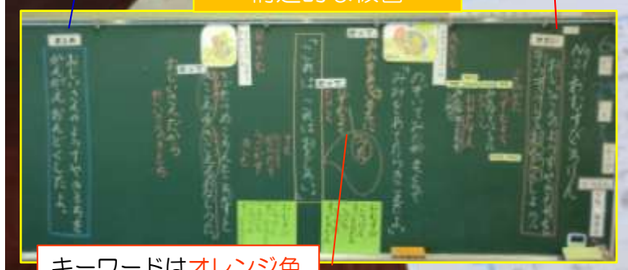
自分の考えを　筋道を立てて説明できる子の育成
－　学び合いを生かした国語科の授業づくり　－

三角形で伝えよう

まとめは
青で囲む

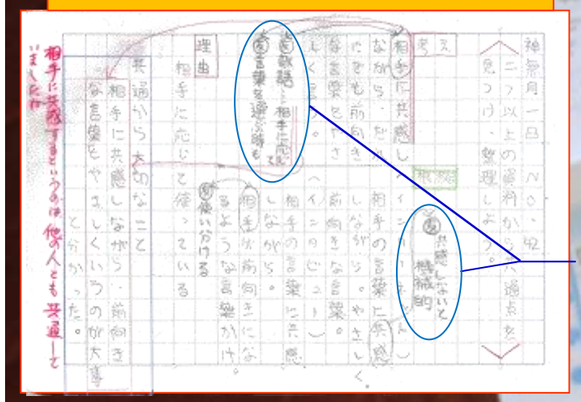
課題は
赤で囲む

構造的な板書



キーワードはオレンジ色

考え・根拠・理由を明確にしたノート



【課題の設定】
考えたくなる課題
単元を通した課題

【発問の工夫】
思考に沿った発問
中心発問の吟味
「あなたは…」

【系統性の重視】
既習学習を生かして
教材文・体験・経験から

【根拠が明確となる意見交換】
話し合いの観点の明確化
互いの考えの対比できる板書・ノート

【振り返り】
獲得した知識
深めた考え
適用問題・反復学習

友 友達の考えを記入

学び合い

あなたの考え

考え

「わたしは～だと思います。」

根拠

考えのもと（事実）
教科書の文・さし絵
資料（図・クラブ等）
公式・実験や観察

理由

「その理由は…」
「～ということは○○ということです。」

事実から
どうしてそう考えたか
自分の体験や知っていること
既習した学習と結びつける

●教師は適切な場で出る
意見をつなぐために、子どもの発言を子どもに投げかける

聞き合い　関連づける　比べる　練り合い

自分の考え	多様な考え	自己との対話（自分の考えの再考）	より高い考えへの再構築（論理的に課題解決）

《国語科について》
○指導の系統性を踏まえて、付けたい力の明確化
→　「読む」系統表の作成

○単元を貫く言語活動を位置づけた授業構想
○語彙力の育成（辞書の活用）
○並行読書の進め方

《話型》つなぎ言葉（語りはじめの言葉・接続詞・順序）（友達との共通・相違）「私は、○○さんの意見と違っていて…」
（自分の考え）「私は、○○と考えます。……」

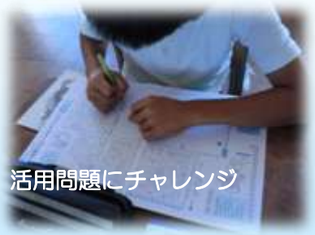
《 用語・キーワード 》
黒板横　今使わせたい用語　　教室横　既習の用語

これまでの実践
教師が意識すること

学習を支える
身に付けたい力

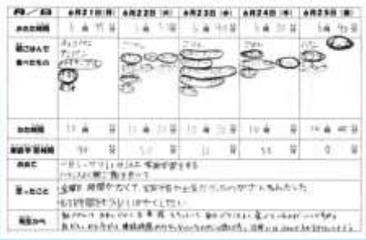
家庭学習のてびき

スキルタイム
活用力タイム



読書活動の充実

バランスアップカード
の取組



明日を担う子どもたち
のための 18 の約束

学習を支える取組

上記の資料は、本校のホームページからダウンロードできます。